

かりや夢ファンド補助金について

1 制度のねらい

かりや夢ファンド補助金は、市民や団体等からの寄附金とその同額を刈谷市が積み立てる「マッチング・ギフト」によって運用されている市民活動支援基金を元に、刈谷市民が自主的に刈谷のまちをよくするために行う活動の誕生・発展を応援することで、市民主体で解決する力を育てていくことを目的とした補助金制度である。

2 かりや夢ファンド補助金の補助メニュー

(1) まちづくり活動支援事業補助金

ア 内容

刈谷市内で市民団体などが自主的に行う公益的なまちづくり活動を支援する。

イ 継続補助

同一事業2回まで（類似事業を含む）

※コラボ70補助金採択事業は回数に含めない。

ウ 補助率・上限額

補助対象経費の2分の1・上限20万円

(2) NPO法人設立支援事業補助金

ア 内容

刈谷市内でまちづくり活動を行うNPO法人の立上げを支援する。

イ 継続補助

1団体につき2回まで（2年連続に限る）

ウ 補助率・上限額

補助対象経費の3分の2・上限10万円（2回目は2分の1・上限5万円）

(3) まちづくりびと支援事業補助金

ア 内容

刈谷のまちづくりに取り組む人たちが自主的に参加する研修等の経費を支援する。

イ 継続補助

交付を受けた日以後3年間は補助対象者にならない。

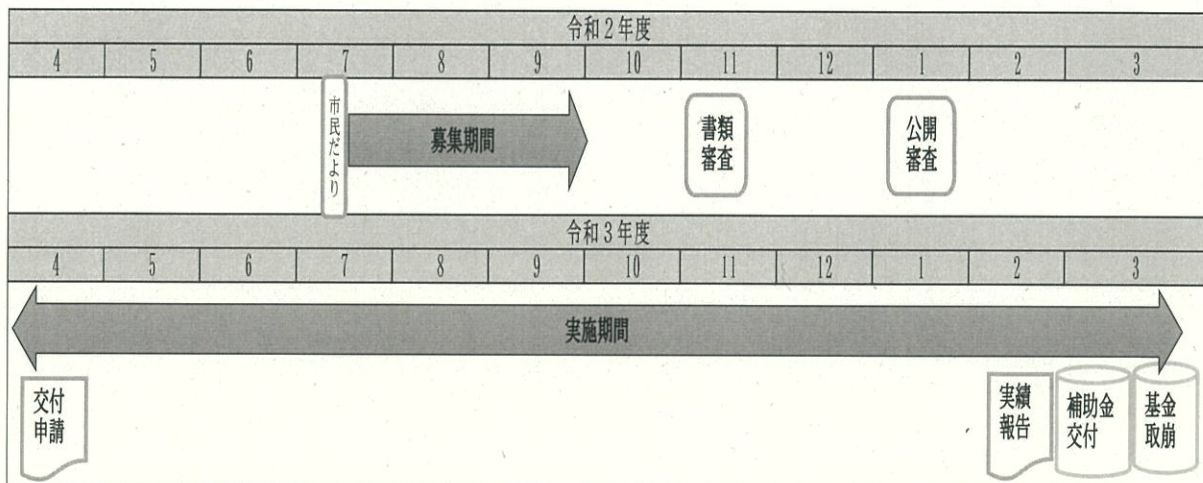
ウ 補助率・上限額

補助対象経費の10分の9・上限1万円（国内研修）または5万円（海外研修）

3 今年度夢ファンド部会について

- (1) 第1回夢ファンド部会では、募集要項及びチラシの確認や公開審査会における審査の基準・点数、今後の募集PR等について検討する。
- (2) 第2回夢ファンド部会では、提出された申請書について、意見交換しながら公開審査会での審査視点の確認及び補助金申請額が5万円以下の書類について審査するとともに、内容に疑義がある申請を書類審査のみで不採択とするか決定する。
- (3) 第3回夢ファンド部会である公開審査会では、補助金申請額が5万円より大きい申請について、提案者からのプレゼンに対し総合的に審査・評価し、採択事業を決定する。採択は、得点の上位から予算枠に達するまで、申請額の満額補助で採択していくが、事業の企画・運営・申請額等に再検討を必要とすると判断したものについては「条件付」とし、事業の改善を求める。

4 今後のスケジュール



令和元年度かりや夢ファンド補助金採択事業の実施事業について

令和元年度に採択したコラボ70補助金及びまちづくり活動支援事業補助金の事業について、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、令和2年度実施予定時期が以下のとおり変更となった。

1 コラボ70補助金

(単位：円)

No.	申請団体名	事業名	実施予定時期		事業費	補助額
			当初	変更後		
1	SUHARA MUSIC FES実行委員会	SUHARA MUSIC FES featuring 刈谷市制70周年	令和2年5月31日(日)	令和3年3月28日(日)	1,800,000	1,000,000
2	刈谷地区心身障害児者を守る会	ひかりかがやけコンサート	令和2年11月	検討中	10,778,400	1,000,000
3	ヴェル・オレンジカフェ	認知症カフェ	通年	通年(4~6月は中止)	612,000	408,000
4	刈谷商工会議所青年部	カリフェス2021	令和3年1月23日(土)	検討中	2,029,000	1,000,000
5	花池蓮愛好会	はないっばいのすみよいまち今川	令和2年7月19日(日)	令和2年7月19日(日)の蓮まつりお茶会を中止し、7月中は蓮鑑賞用の棧橋を設置	1,604,900	1,000,000
6	なかよしGS	なかよし広場	通年	通年 ※新型コロナウイルスの状況次第で喫茶コーナーを閉鎖する等縮小して実施	2,399,670	1,000,000
7	虹の会	日中交流コンサート	令和3年3月21日(日)	令和3年3月27日(土)	1,400,000	1,000,000
8	子ども音楽フェスタ実行委員会	子ども音楽フェスタ2020	・オーディション 令和2年5月31日(日) ・本番 令和3年1月17日(日)	・オーディション 令和2年8月30日(日) ・本番 令和3年1月17日(日)	1,430,000	1,000,000
9	かりやマーブルタウン実行委員会	第3回かりやマーブルタウン	令和2年9月	検討中	545,000	363,000
10	於大通り商店街振興組合	銀座AB地区整備事業の完了を祝い、於大通り夏祭りの復活～市制70周年を祝して～	令和2年9月19日(土)、20日(日)	検討中	1,465,000	976,000
11	刈谷駅前うどんを愛する会	刈谷グルメナンバーワン決定戦	令和2年5月17日(日)	検討中	1,740,000	1,000,000
12	バルーンアート隊「よしま〜ず」	バルーンアートで楽しく過ごそう体験事業	通年	通年(4~6月は中止)	277,600	185,000
13	子は宝プロジェクト	子は宝フェスVol.2	令和2年5月4日(月)、5日(火)	令和3年3月29日(月)、30日(火)	921,900	658,000
14	魁	市制施行70周年の私たちのまち刈谷をみんなで踊ってPRしてお祝いしようプロジェクト	通年	検討中	1,750,000	1,000,000
15	特定非営利活動法人まちづくりかりや	市民参加型ドラマプロジェクト	令和2年4月~9月	検討中	2,348,200	1,000,000
16	認定特定非営利活動法人パンドラの会	わたしとみんなでメモリアル10時間共走りレーマラソン	令和2年6月6日(土)	検討中	2,096,860	1,000,000
合計					33,198,530	13,590,000

2 まちづくり活動支援事業補助金

(単位：円)

No.	申請団体名	事業名	実施予定時期		事業費	補助額
			当初	変更後		
1	特定非営利活動法人Green Trust	刈谷市内・市道道路付属物等の点検及び補修方法の提言	通年	変更なし	470,000	200,000
2	亀城小学校の避難所運営を考える会	亀城小学校避難所運営マニュアル作成と訓練	通年	変更なし	476,000	200,000
合計					946,000	400,000

公開審査会における審査の基準・点数について

1 公開審査会について

公開審査会は、市民等からの提案を対面式・生の声で聴き、質問などを含めたコミュニケーションを行うことで、今後の刈谷のまちづくりに向けた知恵の交換や共感をはぐくむとともに、提案事業の審査を行う。

2 開催日時・場所（予定）

（1）日時

令和3年1月16日（土） 10時～16時

（2）場所

ア プレゼン会場：市民ボランティア活動センター談話スペース

イ 審議会場：社会教育センター301研修室

ウ PRパネル展示会場：市民交流センター1階ロビー

エ 託児会場：社会教育センター和室

3 審査の基準・点数

公開審査会では、各団体のプレゼン及び質疑応答を経て採点を行います。審査の基準・点数は以下のとおりです。

（1）まちづくり活動支援事業補助金

次の5つの審査の視点・ポイントに基づき、審査を行います。（25点満点）

審査の視点	審査のポイント	配点
①主体性・協働性	課題を自分ごとと捉え、他の主体に依存することなく、自分たちでできることを行おうとしている。 さまざまな市民や団体が参加し、つながる機会をつくっている。	5
②公益性	まちの課題や市民のニーズに対応し、多くの市民の利益に貢献することができる。 事業を通して人々の共感を得て、意識を向上させていくことができる。	5
③独創性・先駆性	新しい課題やテーマ、視点からの取り組みである。 事業の進め方や手法に工夫があり、団体の特性が活かされている。	5
④実現性	事業計画やスケジュール、収支計画が具体的・妥当である。 団体としての組織力があり、事業を効果的に行うことができる。	5
⑤発展・継続性	将来的な事業の発展性を検討している。 今後も刈谷で継続した取り組みを行おうとしている。	5

(2) NPO法人設立支援事業補助金

次の6つの審査の視点・ポイントに基づき、審査を行います。(30点満点)

審査の視点	審査のポイント	配点
①課題解決力	団体の活動が刈谷のまちの課題、市民のニーズに的確に対応している。	5
②発展・継続性	将来的な事業の発展性を検討している。 今後も刈谷で継続した取り組みを行おうとしている。	5
③公益性	団体の活動が、多くの市民や団体の利益に貢献する。	5
④実現性	刈谷のまちにおいて、充実したまちづくりを行う見通しがある。	5
⑤組織力	法人設立後の運営についての役割分担がしっかりしている。 組織力を高めていくための計画がある。	5
⑥補助による効果	補助金を交付することに対する効果が大きい。	5

4 検討事項

審査の点数について、会場投票の点数は採択事業の補助額が予算枠に達した場合の一部補助等の決定に影響するものとなっているが、近年は補助申請総額が予算枠を下回ることが多く、会場投票の意味が薄れてしまっているため、以下の点について検討する。

(1) 現状

採択の基準点は、審査員の合計得点の平均がまちづくり活動支援事業補助金は12.5点以上(審査点の満点25点の2分の1)、NPO法人設立支援事業補助金は15点以上(審査点の満点30点の2分の1)で可否を決定しており、これに会場投票の点数を加えた合計得点で順位をつけている。

(2) 変更案

審査員の合計得点の平均に会場投票による点数を加えた最終得点が基準点を上回っているかどうかで採択の可否を決定し、順位をつける。

(3) 具体例「まちづくり活動支援事業補助金」

基準点：12.5点

審査員の合計得点の平均：12.0点

会場投票による点数：1.0点

ア 変更前

審査員の合計得点の平均が基準点の12.5点を下回っているため不採択

イ 変更後

審査員の合計得点の平均と会場投票による点数が基準点の12.5点以上のため採択

(4) 変更理由

会場投票の点数を含めて事業可否を判断することで、予算枠に関係なく会場投票に意味を持たせることができることに加え、審査員の合計得点の平均のみで採択を決めることに対する審査員の負担を軽減することができる。

かりや夢ファンド補助金の今後の募集PRについて

1 現状

新型コロナウイルス感染症の影響により、様々なイベントや行事の開催が制限を受ける中、かりや夢ファンド補助金募集に伴い開催していた募集説明会及び実績報告会についても、感染拡大防止のため中止とした。

2 課題

新型コロナウイルス感染症の第2波、第3波の流行が予想される中、今後も人が集まる形での募集説明会や実績報告会の開催は感染拡大のリスクが伴うことに加え、近年は募集説明会及び実績報告会の参加者が少なく、申請者も参加していない団体が大半である。

3 検討事項

従来 of 募集説明会及び実績報告会実施方法に制限が加わる中、今後どのような募集PRが効果的か検討する。

(1) 現状実施しているPR方法

方法	メリット	デメリット
市民だよりに掲載	・多くの市民の目に触れる。	・紙面の都合上簡易な内容しか掲載できない。
公共施設で配布	・募集要項、チラシを直接手に取れる。	・施設の開館中に訪れた人にしか配布できない。 ・不特定多数の人が出入りする施設に取りに行かないといけない。
市ホームページに掲載	・いつでもサイトにアクセスして情報収集ができる。 ・申請書等の様式をダウンロードして使用することができる。	・パソコン、スマートフォンを持ってないと閲覧することができない。
かりや衣浦つながるねットに掲載	・いつでもサイトにアクセスして情報収集ができる。 ・市民活動情報サイトであり、市民団体に情報が届けやすい。	・パソコン、スマートフォンを持ってないと閲覧することができない。 ・簡易な内容しか掲載できないため、市ホームページに誘導する必要がある。

<p>ツイッター投稿</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文章に加え画像を添付できるため、併せてチラシも通知できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・簡易な内容しか掲載できないため、市ホームページに誘導する必要がある。 ・市民協働課をフォローしている人には情報が届くが、フォローしていない場合情報を検索しないといけない。
<p>あいかり投稿</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文章に加え画像を添付できるため、併せてチラシも通知できる。 ・募集のカテゴリーに登録している人に情報提供ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・簡易な内容しか掲載できないため、市ホームページに誘導する必要がある。 ・アプリをインストールしている人しか情報が届かない。

(2) 今後の募集PR方法案

ア 募集説明用動画の作成

募集説明会で説明していた申請時におけるポイントや注意点をまとめた募集説明用動画を作成し、いつでも閲覧できるよう市ホームページやYouTubeに掲載する。また、市民だよりやチラシにQRコードを掲載することで市ホームページへ誘導する。

イ 実績報告動画の掲載

採択事業実施団体は、事業完了後に実績報告動画を作成していただき、市民協働課が市ホームページやYouTubeに掲載するとともに、市民ボランティア活動センターでも常時放映する。また、自団体での動画作成が困難な市民団体については、例えば市民ボランティア活動センターを利用し、講演形式での報告を撮影する等簡易な動画も可とするほか、市民ボランティア活動センターが行う動画作成講座などを活用できるよう積極的に情報を提供していく。

なお、採択事業の実施結果をまとめたものとしては、まちづくりコーディネーターが作成する「かりや夢ファンドレポート」が別にあるが、ファンドレポートはまちづくりコーディネーターが刈谷のまちづくり現場での活動経験を見聞きし、自身の引き出しを豊かにすることを目的としており、実績報告動画は市民団体が補助金を活用してどのような効果が生まれ、まちづくりが進んだかを団体目線で報告し、かりや夢ファンドの活用を促すものと位置づける。

コラボ70補助金事業の追加審査について

1 経緯

新型コロナウイルス感染症の影響により、刈谷市においても様々なイベントや行事の開催が中止される中、(一社)刈谷青年会議所から刈谷市出身アーティストであるMICRO氏(HOME MADE 家族)を発起人として、「地域の絆」をテーマとした地域応援ソング・ミュージックビデオを様々な市民が参加する市民協働の形で制作することで、地域に元気を取り戻す一助としたい旨の相談があり、刈谷市としてもコラボ70補助金を通じてこの活動を支援することを検討している。

2 コラボ70補助金について

(1) 内容

補助内容	市民団体などが市制施行70周年を記念した事業として、市内で自主的に行う公益的なまちづくり活動の経費を支援
補助対象団体	市内在住、在勤または在学の人が所属する市内で公益的な活動を自主的に行う団体
補助対象事業	次の全ての要件を満たす事業 ①市制施行70周年をPRする事業 ②市民団体が自ら主体的に実施する事業 ③まちづくりを推進するための公益的な事業 ④広く市民が参加できる事業 ⑤令和2年度に実施する事業
補助対象経費	謝礼金、旅費、消耗品費、食糧費、印刷製本費、通信費、保険料、使用料及び賃借料、備品購入費など
補助率	対象経費の3分の2(市内公共施設の使用料は、全額補助)
上限額	100万円

(2) 予算

1,500万円のうち1,359万円の交付を既に予定しており、今回の案件を含めても予算内で補助できる。

(3) 審査の視点・ポイント

次の5つの審査の視点・ポイントに基づき、30点満点で審査を行う。採択には、各審査員の平均点が15点以上（30点満点の2分の1）であることが必要である。

審査の視点	審査のポイント	配点
①70周年啓発性	刈谷市制施行70周年をPRするとともに、まちづくりについて市民の意識を向上させることができる。	10
②主体性	課題を自分ごとと捉え、他の主体に依存することなく、自分たちでできることを行おうとしている。	5
③公益性	まちの課題や市民のニーズに対応し、多くの市民の利益に貢献することができる。	5
④参加・共存性	年齢・性別・国籍・障がいの有無といった違いを認めあつて、多くの市民が参加できる。	5
⑤実現性	事業計画やスケジュール、収支計画が具体的・妥当である。団体としての組織力があり、事業を効果的に行うことができる。	5

3 追加審査事業の概要について

(1) 刈谷市ゆかりのアーティストによる地域応援ソング制作

MICRO氏によるオリジナルソング制作に加え、ゴスペラーズの酒井雄二氏などがシンガーとして参画して楽曲収録を行う。

(2) 市民参加型ミュージックビデオの制作

刈谷市在住・在勤の家族や会社・団体などに出演していただき、市内各所で撮影するとともに、刈谷市出身著名人の特別出演も検討している。

(3) 制作後の展開

無償での使用許可により、各種市内行事や幼稚園・保育園・小学校等で活用する。

4 スケジュール

(1) 本日の部会で審査会に向けた事前質問のとりまとめを行う。

(2) 7月中旬ごろに審査会を開催し、採択の可否を決定する。なお、審査会は非公開とし、市役所会議室で行うが、オンラインでの参加も可とする。

5 オンライン開催について

今後、新型コロナウイルス感染症の第2波、第3波の流行が起きた場合、公開審査会の開催をオンライン化することもふまえ、Zoomミーティングを利用した審査会を開催する。

